

金融犯罪者は

なりすましが得意だから

従来の
パスワード
対策では
危険です!!



フィッシングに耐性のある「多要素認証」が効く!

パスワードを入力する必要がない、
安全性の高い仕組みでなりすましを防ぐ!



パスキーによる認証

パスワードの代わりに生体認証(指紋認証や顔認証)、PINコードなどを使ってログインする、より安全で簡単な次世代認証方式です。パスワードを覚える手間もなくセキュリティと利便性を両立できます。



PKI(公開鍵基盤)による認証

公開鍵と秘密鍵のキーペアからなる技術で、信頼できる第三者(認証局)を通じて、本人であることを電子的に証明する仕組みです。マイナンバーカードを認証に利用することもできます。



メールやSMSに届くワンタイムパスワードを利用した多要素認証は、リアルタイムフィッシングに脆弱なほか、中間者攻撃、マルウェアによる窃取等により突破される場合があります。

リアルタイムフィッシングとは…金融犯罪者が利用者から入力された認証情報を即座に盗み取り、リアルタイムに正規サイトへ不正ログインする手口

つまり! //

もしもフィッシングサイトに誘導されても、パスキー・PKI認証があなたを守る!

大切な資産は、奪わせない。

金融庁
Financial Services Agency

警察庁
National Police Agency

JBA
一般社団法人
全国銀行協会

Face to Face
一般社団法人
全国信用金庫協会

Shikumi Bank
信用組合
一般社団法人
全国信用組合中央協会

八ろさん
一般社団法人
全国労働金庫協会

JSDA
日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association